

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月12日
【四半期会計期間】	第85期第1四半期(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)
【会社名】	昭和化学工業株式会社
【英訳名】	Showa Chemical Industry Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 石橋 健藏
【本店の所在の場所】	東京都目黒区下目黒2丁目23番18号(目黒山手通ビル)
【電話番号】	03(3494)0491番
【事務連絡者氏名】	総務部長 保田 勝之
【最寄りの連絡場所】	東京都目黒区下目黒2丁目23番18号(目黒山手通ビル)
【電話番号】	03(3494)0491番
【事務連絡者氏名】	総務部長 保田 勝之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号) 昭和化学工業株式会社大阪支店 (大阪府北区堂山町1番5号(大阪合同ビル))

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第84期 第1四半期連結 累計期間	第85期 第1四半期連結 累計期間	第84期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	1,959,354	2,062,553	7,093,406
経常利益(千円)	136,418	138,361	387,289
四半期(当期)純利益(千円)	62,215	69,382	338,000
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	3,463	41,930	389,427
純資産額(千円)	1,959,106	2,334,605	2,343,320
総資産額(千円)	9,873,521	10,200,659	9,637,809
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	6.00	6.70	32.62
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	20.4	23.1	24.6

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第84期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社、以下同様）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第1四半期の我が国経済は、東日本大震災の影響による落ち込みから持ち直しつつあるものの、電力供給の問題や円高の進展などもあり、依然として予断を許さない状況が続いております。

当業界におきましても、原油をはじめとした原材料価格の高騰による製造原価の上昇などにより、厳しい状況で推移しております。

このような中、当社グループ（当社及び連結子会社）は、売上目標達成のため積極的な拡販活動を展開すると共に、全社規模での原価低減策を実施するなど利益確保に尽力しました。

この結果、第1四半期連結累計期間の業績は、売上高20億62百万円（前年同期比5.3%増）、経常利益1億38百万円（同1.4%増）、四半期純利益69百万円（同11.5%増）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、製品別の業績を記載すると次のとおりであります。

濾過助剤

当期間におきましては、清涼飲料及び甘味料向け製品の売上が増加しました。この結果、売上高は11億60百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

建材・充填剤

当期間におきましては、ボードなどの乾式工法建材向け製品の売上が増加しました。この結果、売上高は3億1百万円（同9.7%増）となりました。

化成品

当期間におきましては、プール用塩素剤の売上は概ね例年並となりましたが、浄化槽用塩素剤の売上が減少となりました。この結果、売上高は4億95百万円（同2.8%減）となりました。

その他の製品

当期間におきましては、浴室関連機器が売上に貢献しました。この結果、売上高は1億5百万円（同8.0%増）となりました。

（2）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（3）研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費は、総額14百万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	32,000,000
計	32,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,979,000	11,979,000	東京証券取引所 (市場第二部) 名古屋証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	11,979,000	11,979,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	-	11,979,000	-	598,950	-	527,529

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,858,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,066,000	10,066	-
単元未満株式	普通株式 55,000	-	-
発行済株式総数	11,979,000	-	-
総株主の議決権	-	10,066	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式243株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
昭和化学工業株式会社	東京都目黒区下目黒 2丁目23番18号	980,000	-	980,000	8.2
白山工業株式会社	東京都目黒区下目黒 2丁目23番18号	486,000	-	486,000	4.1
東興パーライト工業株式会社	東京都目黒区下目黒 2丁目23番18号	392,000	-	392,000	3.3
計	-	1,858,000	-	1,858,000	15.5

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,932,289	2,029,180
受取手形及び売掛金	2,109,986	2,516,891
商品及び製品	222,886	221,908
仕掛品	338,424	342,273
原材料及び貯蔵品	129,164	126,114
繰延税金資産	35,811	16,219
その他	112,006	53,643
貸倒引当金	6,769	7,938
流動資産合計	4,873,800	5,298,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	970,465	1,013,284
機械装置及び運搬具(純額)	462,202	448,196
土地及び原料用地(純額)	797,540	793,788
その他(純額)	679,548	678,685
有形固定資産合計	2,909,756	2,933,955
無形固定資産		
のれん	3 25,463	3 17,282
その他	70,683	66,148
無形固定資産合計	96,147	83,430
投資その他の資産		
投資有価証券	1,005,743	1,072,548
長期貸付金	115,844	115,754
繰延税金資産	150,644	182,006
その他	566,546	624,107
貸倒引当金	80,674	109,435
投資その他の資産合計	1,758,105	1,884,981
固定資産合計	4,764,009	4,902,367
資産合計	9,637,809	10,200,659

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	844,291	1,023,191
短期借入金	2,486,880	2,967,197
未払法人税等	75,479	66,975
賞与引当金	41,247	16,256
その他	661,751	677,395
流動負債合計	4,109,650	4,751,016
固定負債		
社債	760,000	700,000
長期借入金	1,042,180	1,005,208
退職給付引当金	693,962	707,007
役員退職慰労引当金	387,442	386,191
繰延税金負債	16,984	22,521
その他	284,268	294,108
固定負債合計	3,184,838	3,115,037
負債合計	7,294,488	7,866,053
純資産の部		
株主資本		
資本金	598,950	598,950
資本剰余金	621,930	621,930
利益剰余金	1,488,318	1,507,097
自己株式	504,081	504,122
株主資本合計	2,205,118	2,223,855
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166,396	135,412
その他の包括利益累計額合計	166,396	135,412
少数株主持分	28,194	24,662
純資産合計	2,343,320	2,334,605
負債純資産合計	9,637,809	10,200,659

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,959,354	2,062,553
売上原価	1,300,641	1,358,936
売上総利益	658,712	703,616
販売費及び一般管理費	518,361	530,094
営業利益	140,350	173,522
営業外収益		
受取利息及び配当金	10,167	8,786
固定資産賃貸料	9,906	7,955
その他	8,998	3,849
営業外収益合計	29,072	20,591
営業外費用		
支払利息	23,322	20,645
貸倒引当金繰入額	-	28,754
その他	9,682	6,352
営業外費用合計	33,005	55,751
経常利益	136,418	138,361
特別利益		
投資有価証券売却益	-	18,274
固定資産売却益	-	405
貸倒引当金戻入額	2,210	-
特別利益合計	2,210	18,679
特別損失		
災害による損失	-	2,217
投資有価証券評価損	5,159	-
特別損失合計	5,159	2,217
税金等調整前四半期純利益	133,469	154,823
法人税、住民税及び事業税	15,347	69,241
法人税等調整額	51,577	12,902
法人税等合計	66,925	82,144
少数株主損益調整前四半期純利益	66,544	72,679
少数株主利益	4,328	3,296
四半期純利益	62,215	69,382

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	66,544	72,679
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	63,081	30,748
その他の包括利益合計	63,081	30,748
四半期包括利益	3,463	41,930
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	896	38,398
少数株主に係る四半期包括利益	4,360	3,532

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)												
1 偶発債務 次の関係会社に対するリース会社からのリース債務に対し、保証を行っております。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">短期リース債務</td> <td style="text-align: right;">14,616千円</td> </tr> <tr> <td>長期リース債務</td> <td style="text-align: right;">75,516千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">90,132千円</td> </tr> </table>	短期リース債務	14,616千円	長期リース債務	75,516千円	計	90,132千円	1 偶発債務 次の関係会社に対するリース会社からのリース債務に対し、保証を行っております。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">短期リース債務</td> <td style="text-align: right;">14,616千円</td> </tr> <tr> <td>長期リース債務</td> <td style="text-align: right;">68,208千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">82,824千円</td> </tr> </table>	短期リース債務	14,616千円	長期リース債務	68,208千円	計	82,824千円
短期リース債務	14,616千円												
長期リース債務	75,516千円												
計	90,132千円												
短期リース債務	14,616千円												
長期リース債務	68,208千円												
計	82,824千円												
2 受取手形割引高 受取手形割引高は、25,226千円であります。	2 受取手形割引高 受取手形割引高は、69,810千円であります。												
3 のれん及び負ののれんの表示 のれん及び負ののれんは、相殺表示しております。 相殺前の金額は次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">のれん</td> <td style="text-align: right;">34,163千円</td> </tr> <tr> <td>負ののれん</td> <td style="text-align: right;">8,700千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">25,463千円</td> </tr> </table>	のれん	34,163千円	負ののれん	8,700千円	差引	25,463千円	3 のれん及び負ののれんの表示 のれん及び負ののれんは、相殺表示しております。 相殺前の金額は次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">のれん</td> <td style="text-align: right;">24,536千円</td> </tr> <tr> <td>負ののれん</td> <td style="text-align: right;">7,253千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">17,282千円</td> </tr> </table>	のれん	24,536千円	負ののれん	7,253千円	差引	17,282千円
のれん	34,163千円												
負ののれん	8,700千円												
差引	25,463千円												
のれん	24,536千円												
負ののれん	7,253千円												
差引	17,282千円												

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
減価償却費 55,916千円	減価償却費 64,742千円
のれんの償却額 13,472千円	のれんの償却額 9,627千円
負ののれんの償却額 3,741千円	負ののれんの償却額 1,446千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	55,001	5	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい移動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	54,993	5	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい移動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	6円00銭	6円70銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	62,215	69,382
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	62,215	69,382
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,363	10,362

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当第1四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月11日

昭和化学工業株式会社
取締役会 御中

八重洲監査法人

代表社員 公認会計士 原田 一雄 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 久具 壽男 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている昭和化学工業株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、昭和化学工業株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。